

平成19年度出納局予算見積総括表

一般会計

平成19年度予算見積額	191,093 千円
平成18年度当初予算額	159,081 千円
差引増減額	32,012 千円
対前年度比率	120.1 %

平成19年度出納局主要事業の概要

1. 適正な会計事務の推進

○会計管理費 (4,181 千円)

(1) 会計事務研修の多様化と充実

対象者及び研修内容を絞った研修や契約事務と会計事務を一体化させた研修など関係部局と連携しながら多様な研修を実施し、会計事務等に携わる職員の育成に取り組みます。

(2) 会計検査等を通じた会計事務指導の推進

会計検査や支出審査を通じての指導を推進し、職員の会計事務に対する意識、知識の向上に取り組みます。

また、出納局会計課職員である会計専門員が、出先機関を巡回して会計や契約事務等の適正化に向けた指導に取り組みます。

2. 効率的な事務の推進

○会計管理費

事務処理を効率的に推進するため、次のことに取り組みます。

(1) 高知県旅費事務センターの運営の委託 (99,786 千円)

高知県旅費事務センターの運営が効率的・適正に行われるよう取り組みます。

(2) **新規** 総合評価落札方式(非公共)導入の検討 (304 千円)

価格だけで評価していた従来の落札方式から、県に最も有利な品質となるよう技術評価や企業評価といった価格以外の要素を含めて評価する「総合評価落札方式」を公共工事以外へ導入できないか検討を進めます。